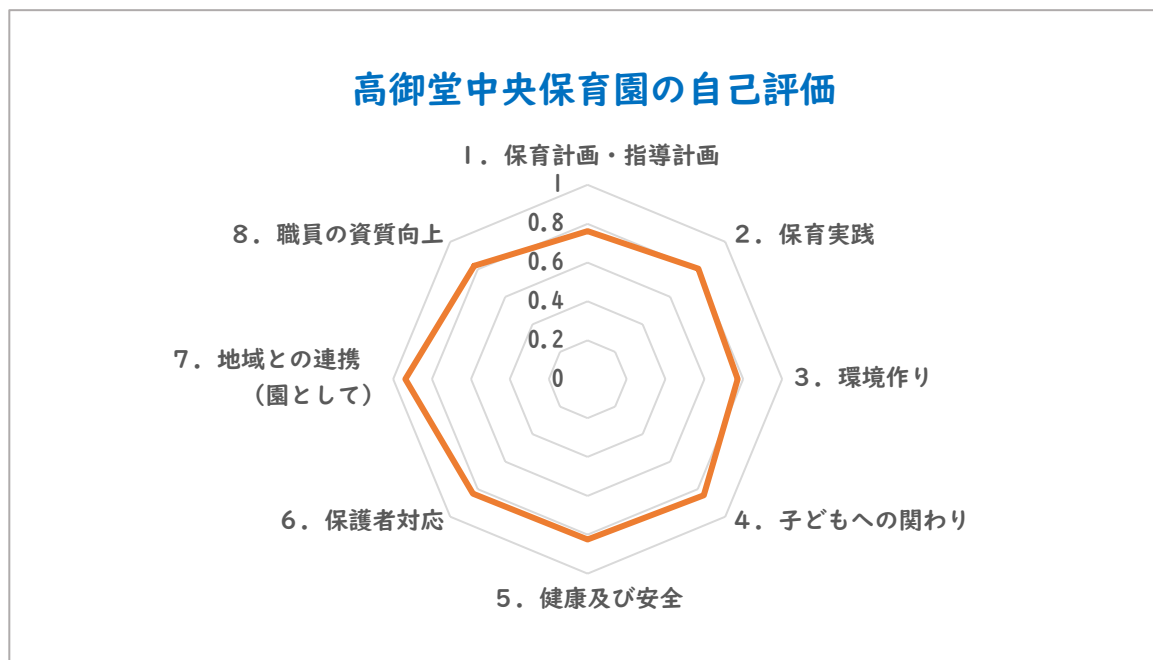


保育所保育指針では、保育の質の向上を図るため、「保育の計画の展開や保育士の自己評価を踏まえ、保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。」ことが明記されています。当園では組織として自己評価に取り組みましたので公表します。



【総評】

保育計画・指導計画」の特に「一人一人の発達の特徴に配慮した計画を立てる」という項目に改善が必要と感じている職員が多くいました。また、「環境づくり」という項目では子どもや保育士にとって整理された環境づくりの意識が低いという結果が出ました。地域との連携については、小学校をはじめ、児童クラブなど交流する中で子どもたちの育ちにつながっていると感じます。



朝の体操



ブロックで街づくり



トウモロコシの皮むき

【今後の課題】

子どもの発達や心の育ちにつなげていくため、職員会議や指導計画立案の際に保育計画や指導計画の共通理解を図り、保育士同士で子どもの姿を振り返り思いを汲み取ったり、関わり方を見直し保育士の学びを深めていきます。また、子どもの思いに寄り添い安心して生活できる環境を整えていきたいと思っています。